#### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	[					
事業所番号	1292200126					
法人名	株式会社 ニチイ学館					
事業所名	ニチイケアセンター南柏					
所在地	千葉県柏市富里3丁目3番42号					
自己評価作成日	平成31年3月15日	評価結果市町村受理日				

#### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	平成31年3月28日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご利用者様に安全に、また安心して生活して頂くことを念頭に置き、日々のサービス・ケアを実施しております。よりよいケアの実現のために、毎月のミーティング・ケアカンファレス・研修を実施して、職員間でのケア方法の統一とケアの質の向上を目指しております。ご利用者様のご健康につきましては、月に2回の医師による往診と、週に1回の看護師の訪問により、維持・管理をさせて頂いております。

・近隣に大型ショッピングセンターがあるため、日々のお買い物やお散歩などの外出しての、気分転換や生活リハビリが可能となっております。ホーム立地も、柏駅から徒歩15分、南柏駅からも徒歩15分程度の距離であり、ご家族様等がご面会に来られるのにも便利な立地なっております。

・自立支援と認知症の緩和のために、日々の家事等をご利用者様と職員が一緒に行っております。ご利用者様とのコミュニケーションを重視し、ご利用者様は笑顔で日々の生活をお過ごしになっております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ニチイケアセンター南柏」は近隣に大型ショッピングセンターがあり、利便性に優れた住宅地の中にある。周辺環境を、日頃から散歩・買物・外食等で活用しており、利用者・家族・職員の外出の楽しみとなっている。地域住民とは、良好な関係を築いていると共に、高校生の職場体験や実習生の受け入れ等を通して、地域貢献にも努めている。職場環境整備の一環として、法人独自のキャリアアップ制度を導入しており、職員の経験・技術・知識の把握を行い、計画的な人材育成・資格取得の奨励・職員の処遇への反映等に配慮している。

	項 目	↓該닄	取り組みの成果 当するものに○印		項 目	↓該	取り組みの成果 当するものに〇印
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向	0	1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求		1. ほぼ全ての家族と
56			2. 利用者の2/3くらいの	63	めていることをよく聴いており、信頼関係ができ	0	2. 家族の2/3くらいと
00	(参考項目:23,24,25)		3. 利用者の1/3くらいの		ている		3. 家族の1/3くらいと
	(多为)其日:20,24,20)		4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面	0	1. 毎日ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地		1. ほぼ毎日のように
57	がある		2. 数日に1回程度ある	64	域の人々が訪ねて来ている		2. 数日に1回程度
<i>J</i> /	(参考項目:18,38)		3. たまにある	04	域の人々が訪ねて米ている   (参考項目:2.20)	0	3. たまに
	(参与項目:10,30)		4. ほとんどない		(多有項目:2,20)		4. ほとんどない
		0	1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関		1. 大いに増えている
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		2. 利用者の2/3くらいが	C.E.	係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所	0	2. 少しずつ増えている
58			3. 利用者の1/3くらいが	00	の理解者や応援者が増えている		3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない		(参考項目:4)		4. 全くいない
	ひのまは 映り バナダナフーレールナルナー	0	1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
-0	利用者は、職員が支援することで生き生きした		2. 利用者の2/3くらいが	66		0	2. 職員の2/3くらいが
9	表情や姿がみられている (参考項目:36.37)		3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(参考項日:30,37)		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	カロネは 三見のにされいします。 はんけってい		1. ほぼ全ての利用者が		動号 ひこせる カロネは ローバット かわむし		1. ほぼ全ての利用者が
00	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい	0	2. 利用者の2/3くらいが	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね	0	2. 利用者の2/3くらいが
υO	る (参考項目:49)		3. 利用者の1/3くらいが	67	満足していると思う		3. 利用者の1/3くらいが
	(参考項日:49)		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		0	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての家族等が
0.1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安		2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスに	0	2. 家族等の2/3くらいが
οI	なく過ごせている		3. 利用者の1/3くらいが	68	おおむね満足していると思う		3. 家族等の1/3くらいが
	(参考項目:30,31)		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
		0	1. ほぼ全ての利用者が		1		
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔		2. 利用者の2/3くらいが				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

(参考項目:28)

62 軟な支援により、安心して暮らせている

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。〕

自己	外	項目	自己評価	外部評価	<u>t</u>
己	部	<b>以</b>	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念	に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	ニチイ学館の理念である「誠意・誇り・情熱」を職員全員に周知しております。また、ホームの理念として「高齢者の尊厳と自立を守る」をミーティング等で周知し、理念の実現を目指します。	社是と施設の理念を事業所内に掲示していると共に、全職員が理念等を明記したコンプライアンスカードを携帯しており、理念に基づいた支援の実践に努めている。また、新人研修や会議等を通して、理念の周知・浸透を図っている。	
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	ご利用者様とお散歩やお買い物へ出かける機会を作っております。また、見学は随時受け付けており、近隣の方をお招きしております。地域に開かれた事業所運営をしております。	地域住民とは挨拶や声掛けを交わす関係を 築いていると共に、町内会に加入しており、 地域の一員として交流している。また、地域 の幼稚園や保育園との交流や、ボランティア の受け入れを通して、入居者の生活活性化 に繋げている。その他、高校生の職場体験・ 実習生受け入れ等を通して、地域貢献にも 努めている。	
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	ニチイ祭りや行事にて、近隣の方をお招き しての認知症の研修や福祉用具の展示を しております。		
4	(3)	〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	運営推進会議は、平成30年度は2ヶ月に1回開催をしております。事業所の現状や課題を報告し、ご質問やご提案も伺い、サービスの向上に努めております。	地域包括支援センター職員・町会長・入居 者・家族・職員等を構成員として、2ヶ月に1 回、運営推進会議を開催している。会議で は、活動報告や意見交換行っており、支援 や運営の向上に繋げている。	
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	柏市グループホーム連絡会に所属しており、連絡会の会議にて柏市の担当者と話し合う機会があります。また、地域包括支援センターとも連携しております。	市に対しては、日頃から、業務の報告や連絡・相談を通して、連携を図っている。また、市のグループホーム連絡会に加入しており、会議を通じて、市と意見や情報交換を行い、地域の現状に即したサービスの提供や課題解決に向けた取り組みを行っている。その他、市主催の研修に参加しており、職員の育成に努めている。	

自	外	-= -	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解 しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	身体拘束廃止の職員研修を実施しております。職員には、外部の研修にも参加を推奨しております。玄関の施錠に関しては、ご利用者様・ご家族様のご要望や安全面に配慮したうえで施錠管理を行っております。	身体拘束排除における指針を整備している と共に、検討委員会及び内部研修が毎月開 催されており、身体拘束の無い支援を実践し ている。また、高齢者虐待防止や権利擁護 に関する研修も実施しており、職員全員で共 通理解を図っている。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で の虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている			
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必 要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよ う支援している	毎月実施の内部研修や外部研修にて権利 擁護を学ぶ機会を作っております。新入社 員にも、採用時研修にて権利擁護を学ぶ機 会を作っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	ご契約の前にご説明をしてからご契約して 頂いております。また、疑問点等にはお答 えしております。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	相談や苦情の窓口に関して。契約書や重要事項説明書に記載しております。また、運営規定は入り口に掲示しております。運営推進会議にはご家族様にも出席して頂いており、ご意見を事業所運営に反映しております。	家族の面会時や電話連絡時に家族の意見・要望を直接確認している。また、運営推進会議を活用し、意見の言い易い環境作りに取り組んでいる。毎月「ゆたか通信」と「さやか通信」を発行しており、入居者の日々の様子や活動等を家族に伝え、良好な関係作りや施設の理解促進に努めている。その他、行事案内を送付しており、家族参加の促進を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に業務ミーティング等の会議を開催 しており、職員の意見や提案を聞く機会を 設けております。	定期的に会議を開催しており、職員の意見や提案を確認する機会を設けている。また、法人が独自のキャリアアップ制度を導入しており、職員の経験・技術・知識を把握し、資格取得の奨励や職員処遇への反映に努めると共に、職員の質の確保・向上を目指した計画的な人材育成に取り組んでいる。職員の希望や状況に応じて、柔軟に有給休暇を付与しており、働きやすい環境づくりに努めている。	

自	外	-= D	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	ニチイ学館独自の制度としてキャリアアップ制度があり、一定の期間ごとに職員への面談、テストを実施し、キャリアアップ(給与加算)をしております。面談時には、職員の要望や意見を聞き、ホームの環境整備に努めております。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこと を進めている	法人内外の研修を職員の希望やキャリア に応じて受けられるように配慮しておりま す。また、働きながらトレーニングできるよう に職員のキャリアに応じた育成計画に取り 組んでおります。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会に所属しており、他事業所や職員と交流を行っております。連絡会主催の研修や交流会に、職員が参加しております。		
II.3	と心と	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にアセスメントを行っております。 アセスメントにてご利用者様はお困りのこと やご希望を伺い、それをケアカンファレンス にて話し合い、ご利用者様が安心できる関 係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	ご見学やご相談時に、ご家族様のご意見 や不安なことをお伺いし、ご家族様・ご本人 様のお気持ちに沿ったサービス提供に努め ております。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご見学時、ご相談時に、ご本人様とご家族様の状況やご要望を確認しております。ご 入居前に他のサービスをご利用の場合は ケアマネージャー等と連携し、本当に必要と しているサービスを受けられるように支援し ております。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援の場として、ご入居者様のお気持ちを尊重しており、支援時にはご入居者様のご希望を伺っております。家事やコミュニケーションを職員とご入居者様が共に行い、職員がご入居者様からも学ぶ点があるものと思っております。		

自	外	<b>语</b> 日	自己評価	外部評価	<b>5</b>
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人 を支えていく関係を築いている	ケアの状況について随時ご家族様へご連絡し、ご家族様のご要望を伺っております。 また、ケアプラン作成にはご家族様のご協力をお願いし、ご入居者様を共に支えられる関係作りに努めております。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居時には、ご利用者様が日ごろから愛用されていた物をお持ち頂いております。ご入居者様へのご面会は随時受け付けており、馴染みの方との関係が途切れないように支援しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう な支援に努めている	日々の生活のなかでご入居者様同士が交流できるよう機会(レクレーションや散歩、お茶会など)を大切にし、交流の機会が増えるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去時に、今後も支援が必要な場合はご 相談くださいますようにお話しております。		
	(9)	<b>人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン</b> ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている		本人や家族から意向や生活暦・身体状況等を確認していると共に、必要に応じて医療機関や他の介護サービス事業所から情報を収集し、細かい情報の把握に努めている。また、日常生活の観察記録や医師・看護師との情報交換を通して、入居者の現状把握に努めており、本人本位のサービス提供に取り組んでいる。	

自	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
巨	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	ケアプランにご本人様の生活暦や暮らし方を反映できるように努めております。また、ご家族様にはご面会時等にご利用者様のことをお伺いして、暮らしの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	毎日朝・タと職員間で申し送りをして情報共有をしております。ケアカンファレンスを通じて、ご本人様の現状把握に努めております。		
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している	介護職員以外の関係者にもご参加頂き、定期的なケアカンファレスを実施しております。ケアカンファレンスでの話し合いを通して、ケアプランにご利用者様やご家族様の意見や要望を反映できるようにしております。	家族・医師・施設関係者で会議を開催し、支援内容を検討して、介護計画を作成している。定期的に介護計画の目標の達成状況の確認や評価を行っていると共に、必要に応じた見直しを行っており、現状に即した介護計画の作成に取り組んでいる。	
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別記録に残しており、申し送りで全職員が内容を確認しております。 また、個別記録以外にユニットごとの申し送りノートを作成しており、情報共有や介護計画の見直しに活用しています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人がご希望の買い物への付き添いや 医療機関への受診付き添いなどを行い、 サービスの多機能化に取り組んでおりま す。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関・地域包括支援センターとの連携を始め、近隣の方やボランティア様のご協力を賜り、地域の一員としてイベント参加などをできるように支援しております。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている	ご本人様・ご家族様のご希望に沿った医療を受けられるように支援(相談、通院同行等)しております。	希望のかかりつけ医への受診が可能となっていると共に、定期的に内科医・歯科医の往診も実施しており、適切な受診支援が行われている。また、訪問看護の実施により、適切な健康管理を行っており、入居者や家族の安心に繋がっている。他にも、訪問マッサージも実施しており、身体状況に応じた個別医療支援も行っている。	

自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>5</b>
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護 を受けられるように支援している	医療連携体制を取っており、24時間オンコール体制と週に1回の訪問看護にてご入居者様の健康維持に努めております。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている。	ジャー等の職員が病院の担当医や相談員		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業 所でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	ファレスにと情報大石と概負的と口で、主	終末期における施設の方針を明文化し、契約時に家族への説明を行っている。重度化した場合や終末期においては、家族・医療機関・職員で話し合い、事業所全体で協力体制の統一を図り、出来る限りの支援を行えるよう取り組んでいる。また、法人グループの組織力を活かし、他のサービスへの切り替えに備え、本人・家族の意向に沿ったサービス提供ができるよう体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、ユニットごとに常備しております。また、研修や消防署職員等の指導を通じて緊急時の対応ができるように努めております。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施しております。そのうち1回は消防署職員立会いにて実施しております。また緊急時のマニュアルを作成し、全職員へ周知しております。	非常時・災害時におけるマニュアルの整備や研修等を実施している。消火器・自動通報器・スプリンクラー等の消火機器を設置すると共に、年2回、避難訓練を実施している。訓練では、消火器訓練・避難訓練・消防立会い訓練等を実施しており、的確な避難方法・対応方法を身に付けている。	

自己	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	とテストを毎年実施しています。また、ニチ	プライバシー保護・個人情報保護に関するマニュアルの整備を行うと共に、法人がコンプライアンス遵守規定を定言しており、共通理解や意識の徹底に取り組んでいる。また、研修や会議にて個人の尊厳に配慮した接遇方法を指導しており、全職員は会話や介助方法等に細心の注意を払い、入居者のプライバシーに配慮している。入居者の希望や状況に応じて、同性介助を意識した支援にも努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	ご本人様の状態や状況を確認したうえで、 ご本人様が自己決定や自己選択をする機 会の提供に努めております。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様それぞれの生活習慣・ペースを 尊重し、ご利用者様の嗜好やご希望に沿っ た生活をできるように支援しております。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	毎日着られる物はご利用者様の選択・希望を尊重しております。訪問美容師と相談してお好きなヘアスタイルを決めて頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と職員がご利用者様の状態に応じ、一緒に調理や盛り付けをしております。毎日の献立にはご利用者様の好みを伺い、反映できるように努めておりま。	入居者の希望や能力に応じて、食事の片付け等を職員と一緒に行っている。食材は近隣の業者に委託しており、献立作成・調理は職員が行っている。入居者の希望・嗜好・季節感を取り入れた食事を提供すると共に、定期的に外食・特別食・手作りおやつ・お弁当のテイクアウト等を実施しており、食に対する楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	食事量・水分量は毎食ごとに計測・記録しています。ご入居者様それぞれの嚥下や咀嚼能力に応じた食事(刻み食やとろみを付けた食事等)を、医療職に相談しながら提供しております。栄養面でもバランスのよい食事の提供に努めております。		

自	外		自己評価	外部評価	<b>II</b>
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後に口腔ケアを実施しております。口腔衛生管理体制加算を取得しており、歯科 医師・歯科衛生士から口腔ケアについて技 術的助言及び指導を毎月受けております。		
43	(16)	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレ での排泄や排泄の自立にむけた支援を行ってい る	尊厳に配慮した声かけにて、トイレ誘導をしております。個別の排泄記録を取り、排泄パターンの把握に努めております。	排泄チェックリストを活用し、入居者個々の 排泄パターンや健康状態を把握し、個別の 排泄支援に努める共に、見守り・声掛け・トイ レ誘導を行い、排泄の自立を支援している。 また、ラジオ体操や散歩の実施や、乳製品 やプルーンの提供を行っていると共に、必要 に応じて医師や看護師と相談を行っており、 自然排便を目指した対応に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	散歩や体操などの適度な運動の機会を提供し、便秘の予防に取り組んでおります。また、日々の排便を記録し、主治医とも便秘について相談しております。食事にヨーグルト等の腸内に働きかける効果のある食材を適宜提供しております。		
45	(17)	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている			
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支 援している	援しております。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	は職員二人で確認をし、薬の間違え防止に 努めております。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様それぞれの嗜好や趣味を楽しんで頂けるように支援しております。また家事等もご利用者様の状態に応じて職員と一緒に行って頂いており、ご利用者様の力や培ってきたもの活かせるように支援しております。		

自	外部	項目	自己評価	外部評価	
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	ないような場所でも、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら出かけられるように 支援している	散歩やお買い物などの外出支援をしており ます。ご家族様との外出や外食の際にはご	近隣に大型ショッピングセンターがあり、日頃の散歩・買物等で活用しており、利用者・家族・職員の外出の楽しみとなっている。定期的に外出行事を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。また、ユニット間の交流等を行い、施設内での楽しみの充実化を図っている。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	お金に関してはご家族様のご理解ご協力 のうえ、個別にお財布をお預かりしておりま す。近隣へ買い物へ行く際は、お支払いを ご利用者様自身に行って頂くように努めて おります。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話を使用する際は、職員が見守りするなどの支援をしております。また、携帯電話の所持・使用も可能となっております。手紙のやり取りも支援しております。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明器具は反射しないようになっており眩しさを軽減しております。温度計湿度計を共有部に設置しており、適切な温度湿度に配慮しております。季節の花を置くなどし、季節を感じて頂けるようにしております。	共有スペースには椅子・テーブル・和室を設置しており、自由にくつろげる環境が整備されている。また、写真・作品の掲示や季節飾り付けを行う等、明るく楽しい雰囲気作りに努めている。温度・湿度計や加湿器等を設置し、空気乾燥による感染症予防に努めている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共有空間では、ご利用者様がそれぞれ思い思い好きなことをして過ごせるように支援 しております。		
54	(20)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	ご利用者様の愛用品や馴染みの家具等をお持ち頂けます。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具等を持ち込むことが可能となっており、入居者が居心地良く生活できるよう配慮している。希望に応じて和風や洋風の使い方が可能となっており、入居者の生活暦に合せた居室作りがなされている。各部屋に鍵や収納スペースが設置されており、プライバシーが確保されている。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すりの適切な設置、トイレにわかりやすい 目印の設置など、安全に配慮し、ご利用者 様が使いやすい、また過ごしやすいように 工夫してあります。		